

樂

市民のための行政書士による無料相談会
2013年6月13日(木) 16:00~19:00
主催=大阪府行政書士会北支部
相談無料
遺言・相続、内容証明、クーリングオフ、公
正証書の作成など…日常生活に関わる
士が無料で伺います。行政書士には守秘
義務があるので、安心してご相談ください。
HPよりお問合せメールまでご連絡ください。
(www.osakagyoseisho.or.jp/branch/kita/)

第5回「関大・まちの駅」
テーマ:KU-OASISプロジェクト
一四万十川の復活を目指して
講師:社会学研究科大学院生
2013年6月28日(金)
①12:00~13:30 ②14:00~15:30
③16:00~17:30
入場自由・参加無料
リサーチアトリエで足を休めてちょいと一息、
學問と大学に触れるきっかけになるようにと
企画されたのが「関大・まちの駅」。第5回
は社会学研究科大学院生たちがKU-OASIS
プロジェクトについてお話をします。
<http://www.kansai-u.ac.jp/rakusai/>

06月

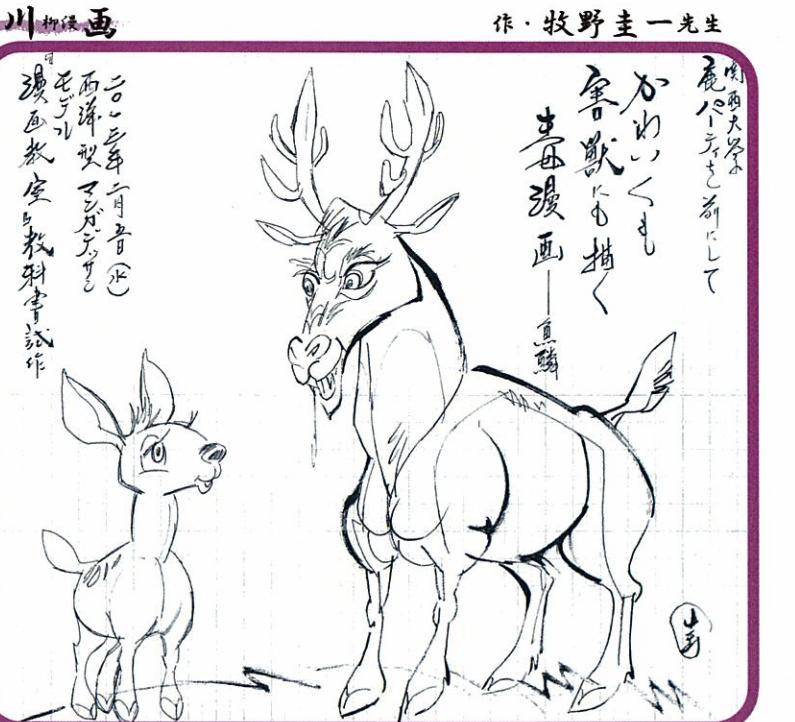
関西大学 リサーチアトリエ 活動 CARD

関西大学リサーチアトリエ
(楽歳天三・楽市楽座)で行
われる、今月の連携活動を
ご紹介します。

※内容は予告なく変更される
ことがあります。最新の詳細
はHPをご覧ください。

<http://www.kansai-u.ac.jp/rakusai/>

作・牧野圭一先生



みんな!
集まれ!

りそな銀行南森町支店
ショーウィンドー前
商店街の一角がライブ会場に大変身!!
観覧無料

天神橋筋ローテンションハイテンション!! 第18回
南森てんこもりライブ!!

2013年6月22日(土) 15:00~19:00
SUPER WONDER DRAG / 柳川 & 柳川 / 室津敬一郎 / まるおかかずこ
ray・G / チャーミー青木 / つる & つる / スインギー / & 京子

天神橋商店街1・2・3丁目 & 天満宮イベント
石置が繋ぐ、街と人の出会い。
2013年6月23日(日) 11:00~16:00 大阪天満宮境内
南森てんこもりライブ 参加決定!
JPU-F/ray-G/室津敬一郎/アーダコーダ/チャーミー青木/かおりん/つる&つる/&京子

NEWS
step by STEP

関西大学社会的信頼システム創生センター
KANSAI UNIVERSITY Research Center for
Social Trust and Empowerment Process

天神橋筋・中崎町界隈文化マップ 無料配布中
天神橋筋駅近駐輪場マップ 無料配布中
中崎町・天神橋筋商店街本ぶらマップ 無料配布中
関西大学リサーチアトリエ
最新イベント情報HPにて随時更新中



関西大学リサーチアトリエ
(楽歳天三・楽市楽座)
〒530-0041 大阪市北区天神橋3-9-9
(天神橋3丁目商店街)
☎06-6940-4340
最寄駅 | 地下鉄堺筋線「扇町」4番出口から徒歩5分

関西大学社会的信頼システム創生センター
<http://www.kansai-u.ac.jp/step/>
関西大学リサーチアトリエ [楽歳天三・楽市楽座]
<http://www.kansai-u.ac.jp/rakusai/>
[ブログ] 楽歳天三の日々 <http://kustep.exblog.jp/>
[face book] <http://www.facebook.com/kandai.STEP>

06 JUNE

らくさん Vol. 8

楽

しどしど 降るふる梅雨の空

ざあざあさんざん

しづく が ぱらぱら

ほつほつ 雨粒

ばらばら びしゃん

ぴちゃぴちゃ ぽどん

関西大学リサーチアトリエ
活動 REPORT

今月の楽市さん

活動CARD

みんな集まれ!
りそな銀行南森町支店
ショーウィンドウ前

牧野圭一先生
川柳漫画

step by STEP NEWS

関西大学リサーチアトリエ 活動 REPORT



地域との繋がりを深めた ボランティア・カフェ

近なところからボランティアに参加してもらおうと、大阪市北区社会福祉協議会主催で企画されたのが「ボランティア・カフェ」。4月30日・5月1日の2日にわたり開催されたボランティア・カフェでは、約80人の来場がありました。ペットボトルのキャップ、缶飲料のブルトップ、使用済みの切手、書き損じのハガキを、地域の方々に持ち寄っていただきました。これらは、NPOを通じてリサイクルメーカーに売却され、その収益は世界の子供たちに必要なポリオワクチンや車いすの購入などにあてられます。

また、お楽しみイベントではバルーンアートを来場者と一緒に制作しました。スタッフがピエロに扮そうして、あつという間にバルーンアートを完成させると、来場者から歓声が上がりました。ブルドールやカエル、サクランボや花など、可愛らしいバルーンアートに、子供たちも大喜び。会場は大いに盛り上がりました。

関西大学リサーチアトリエ(楽歳天三・楽市楽座)では、毎月たくさんの方々とともにさまざまな社会連携活動に取り組んでいます。ここでは5月に行われた、最新の連携活動をご紹介します。連携活動にご協力・ご参加くださいました皆さま、ありがとうございました。

団地をみんなで考える だんだんギャラリー



ある団地を活かし、これからもずっと暮らしやすい「まち」に再編していくことを目指して。関西大学先端科学技術推進機構、戦略基盤・団地再編プロジェクトのメンバーが、日々この研究に取り組んでいます。

5月13日～21日にリサーチアトリエで上記の研究成果を発表する「だんだんギャラリー」が開催され、期間中には約500人の来場者がありました。だんだんギャラリーの『だんだん』とは、「団地」と「談話」を組み合わせた造語。親しみやすいネーミングで、今まで何度も巡回展を行っています。ギャラリーでは京都府八幡市にある男山団地を対象に、学生が制作した団地再編提案模型を展示。来場者に対して、学生スタッフが「団地の提案」の説明を行いました。14日には「だんだんカフェ」を1日限定で開催。学生スタッフと来場者がお茶を楽しみながら、団地をテーマに語り合いました。

男山団地は1972年に入居が開始された大規模団地で、約1万人が暮らしています。このような大規模集合住宅団地は、住宅の老朽化や設備の陳腐化、少子高齢化、コミュニティの弱体化など、さまざまな社会的問題を抱えているのが現状。これらの団地はまとまった整備敷地を確保してストック活用を図る整備方針が採られることが多いのですが、このプロジェクトでは従来とは異なる手法を提案しています。たとえば、建物の躯体は変えずに建物と建物をつなぐ廊下、住民が気軽に集えるデッキなどを設置するという空間提案。また、整備をする上で必要となる資金についても、自立的に生み出していく仕組みが提案していました。会場ではこれらの提案について、現状模型と提案模型を展示し、プロジェクトの内容が見てよく分かるように工夫していました。

入口に展示した2000分の1の大きさで作られた黒いアクリル模型は、道行く人々の興味を引き付けました。「珍しい模型がある」と、特に今まで建築や団地に興味のなかった方もアトリエを覗いてくれました。学生が制作した300分の1の詳細模型は、木々や住棟の窓なども細かく再現されています。それらを見て感心する声が多く、ギャラリーに立ち寄る方からはプロジェクトに関する感想を聞くことができました。学生たちも、「多くの意見を聞くことができてとても参考になった」と話していました。

今月の
楽市さん08
天神橋筋商店街を繋ぐヒト・モノ・コト

研究の深みを
増すためにも、
またSTEPと
コラボレーション
できたらいいな

片岡由香さん
関西大学
先端科学技術推進機構
研究員



西大学先端科学技術推進機構、戦略基盤・団地再編プロジェクトのメンバーとして、今まで2年間研究を続けてきました。現在は、京都府八幡市にある男山団地を研究対象に、団地の再編を考えています。

今回、初めてリサーチアトリエで今までの研究成果を発表する「だんだんギャラリー」を開催することになりました。広報のポスターは私が担当し、大阪の方が少しでも興味を持って下さるように「とらきち」をイメージして黄色と黒を使ってみたり…。最初はどうなることやらと不安もありましたが、意外と道行く方々が立ち止まってくれました。

今まで建築関係の実務家や教員、学生、団地の住民の方々から話を聞くことは多かったのですが、一般の方の意見が聞ける機会はありませんでした。プロジェクトの提案に対する率直な意見を聞く事ができ、とても参考になります。例えば「ここに温泉や銭湯をつくったら」という意見。住民のコミュニケーションの場にもなりうるし、外からお客様もやって来る。本当にいろいろな交流接点が生まれるというこの案は、資金の問題はありますが確かにいいなあ、と思いました。

ここは、ふらっと立ち寄って下さる方がたくさんいて、多くの意見を聞くことができます。それはとても参考になるし、勉強にもなる。この場所でこうした企画をすることに、今後の面白い可能性を感じました。研究の深みを増すためにも、またSTEPとコラボレーションできたらいいな、と思います。



2013年5月13～21日に行われた「だんだんギャラリー」。14日は「だんだんカフェ」も開催され、団地をテーマに来場者と語りました。団地再編提案模型を前に、来場者にプロジェクトの説明をしている片岡さん。